

教育委員会

教育行財政	- 1
学校教育	- 3
社会教育・文化財	- 15
博物館	- 17
図書館	- 22
市民スポーツ	- 26
青少年行政	- 28
人権教育	- 33
教育センター	- 35

教育行財政

教育委員会開催状況

(18年)

会 議	議 案 件 数
16回	28件

審議状況

(18年)

	条 例	規 則	規 程	要 綱
制 定	件	件	件	件
廃 止		1		
改正(全部)				
“(一部)”	3		3	

市内の教育機関

(平成19年5月1日現在)

校 種	市 立		県 立		私 立		合 計	
	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数	校数	生徒数
四年生大学	校	人	校	人	2校	1,229人	2校	1,229人
高校全日制			9	7,636	4	2,682	13	10,318
定 時 制			2	645			2	645
通 信 制			2	407	1	532	3	939
中 学 校	22	8,565			3	875	25	9,440
小 学 校	40	18,363			1	460	41	18,823
幼 稚 園	24	1,603			15	3,457	39	5,060

教育費

(単位：千円)

費 目	平成16年度	17	18	19(当初)
教 育 費 (A)	9,040,282	10,317,942	10,240,803	8,195,339
教 育 総 務 費	1,899,843	1,634,904	2,318,560	2,292,811
小 学 校 費	2,712,087	2,925,199	3,421,365	2,623,637
中 学 校 費	1,041,837	2,793,056	1,671,846	831,442
幼 稚 園 費	989,038	1,064,031	1,058,959	914,344
社 会 教 育 費	1,858,967	1,034,362	1,012,496	1,034,984
保 健 体 育 費	538,510	866,390	757,577	498,121
一 般 会 計 歳 出 額 (B)	95,484,067	93,191,220	93,895,548	98,138,000
一般会計の中で教育費の占める割合(A/B)	9.5%	11.1%	10.9%	8.4%

平成16～18年度は決算額、19年度は予算額

児童 1 人当たり教育費

(単位：円)

	平成16年度	17	18	19(当初)
中学校	86,770	84,447	74,490	73,430
小学校	116,558	110,099	93,560	99,434
幼稚園	87,144	78,042	79,074	92,896

いずれも建設関係費を除く。平成16～18年度は決算額、19年度は予算額

学校施設整備状況(主要建設事業)

(単位：千円)

事業	年度	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
		校	事業費	校	事業費	校	事業費
小学校	校舎新增築	-	-	1	31,044	3	436,975
	危険等校舎改築	-	-	1	298,531	1	443,532
	バリアフリー化改修	4	86,175	5	108,991	3	68,773
	耐震補強	11	184,021	10	183,559	-	-
	給食室改修	3	113,062	3	78,910	1	25,958
中学校	バリアフリー化改修	2	57,759	3	55,413	3	91,462
	耐震補強	6	132,001	5	74,643	-	-
幼稚園	園舎等整備	-	26,459	-	26,711	1	10,139

学校備品の整備状況

(単位：千円)

校種	区分	平成16年度		平成17年度		平成18年度	
		一般	新築・改造	一般	新築・改造	一般	新築・改造
小学校	教材備品等	28,641		19,029	-	19,660	
	管理備品	12,656		7,909	5,797	0	1,822
	保健備品	1,161		1,756	-	976	
	給食備品	11,978	10,856	10,566	5,151	9,570	1,378
	なかよし給食	1,147		0	-	0	
中学校	教材備品等	21,533		22,500	-	10,500	
	管理備品	5,134		4,718	16,467	4,779	
	保健備品	666		586	-	530	
	給食備品	0		0	-	0	
幼稚園	保育・管理備品	5,211		7,545	-	6,409	
	保健備品	187		63	-	4,413	
共同調理場	給食備品			9,330	-	249	
合計		88,310	10,856	84,002	27,415	57,086	3,200

学校教育

学校教育ビジョン

基本方針 新しい時代をたくましく切り拓いていく子どもの育成

自分で生活・学習していこうとする力の育成 <自立>

他とともに生活したり学んだりしていこうとする力の育成 <共生>

自分の生き方や学び方の質をさらに高めようとする力や向上心の育成 <チャレンジ>

めざす子どもの姿

生きる力

確かな学力 基礎的・基本的な学力を着実に習得し、健全な社会人として生きるための基礎・基本を身につけた子ども

健康・体力 たくましく生きるための健康や体力を備えた子ども

豊かな人間性 自らを律しつつ、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心など、豊かな人間性を備えた子ども

共に生きる力

コミュニケーション力

他の意見を聞き、自分の思いを伝える力を身につけた子ども

互いに向上する人間関係

互いに切磋琢磨し向上しようとする子どもたち

平成19年度学校教育指導方針

指導の力点 ・ 生きる力・共に生きる力の育成

・ 保護者・地域の信頼に応え、共につくる園・学校

・ 教職員の資質・能力の向上

具体方針 幼稚園教育 ・ 生きる力・共に生きる力の基礎を育成する。

・ 連携を重視した園運営を推進する。

小・中学校教育 ・ 自ら学び自ら考える力を育成する。

・ 豊かな人間性を育成する。

・ 健康な心と体を育成する。

・ 社会の変化に対応し、主体的に生きる力を育成する。

特別支援教育 ・ 障害のある子どもの自立し社会参加するための力を育成する。

人権教育 ・ 人権を尊重し、差別をなくす実践力を育成する。

園・学校づくり ・ 家庭や地域の信頼に応える学校づくりを推進する。

教職員の資質・能力の向上

・ 教職員の実践的指導力を高める効果的な研修を実施する。

家庭・地域の教育との連携

・ 家庭・地域との対話を大切にしたり、共に進める子育てを推進する。

市内児童・生徒数の推移（公立）

年度	幼稚園			小学校			中学校		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成10	770	724	1,494	9,496	8,826	18,322	4,818	4,580	9,398
11	746	721	1,467	9,322	8,627	17,949	4,663	4,443	9,106
12	794	691	1,485	9,174	8,633	17,807	4,671	4,237	8,908
13	743	736	1,479	9,119	8,579	17,698	4,636	4,179	8,815
14	706	771	1,477	9,069	8,490	17,559	4,521	4,111	8,632
15	798	753	1,551	8,920	8,519	17,439	4,378	4,028	8,406
16	746	735	1,481	8,991	8,571	17,562	4,269	3,997	8,266
17	804	827	1,631	9,455	8,977	18,432	4,411	4,059	8,470
18	836	783	1,619	9,387	9,009	18,396	4,413	4,197	8,610
19	839	764	1,603	9,437	8,926	18,363	4,397	4,168	8,565

特別支援教育

平成19年度は、小学校に知的障害学級36校、情緒障害学級27校、難聴学級1校、肢体不自由学級11校、中学校に知的障害学級19校、情緒障害学級9校、難聴学級1校、肢体不自由学級3で、総計61校に107学級の障害児学級を設置し、そこに在籍する児童・生徒数は340人である。

また、通級指導教室として、言語が小学校に2校、情緒等が小学校に1校設けられている。

障害児学級設置状況

(1)小学校

(平成19年4月1日現在)

校名	学級	児童数	教員	内 容	校名	学級	児童数	教員	内 容
中部西	2	9人	2人	難聴・情緒障害	大矢知興讓	4	11人	4人	知的障害・情緒障害・肢体不自由
浜田	2	5	2	情緒障害・肢体不自由	八郷	1	7	1	知的障害
東橋北	2	3	2	知的障害・肢体不自由	下野	2	10	2	知的障害・肢体不自由
海蔵	2	10	2	知的障害・情緒障害	保々	2	4	2	知的障害・情緒障害
塩浜	2	6	2	知的障害・情緒障害	水沢	2	3	2	知的障害・情緒障害
三浜	2	5	2	知的障害・情緒障害	高花平	2	9	2	知的障害・情緒障害
富田	3	9	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	泊山	2	11	2	知的障害・情緒障害
富洲原	2	7	2	知的障害・情緒障害	笹川東	2	8	2	知的障害・情緒障害
羽津	3	13	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	常磐西	3	8	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
常磐	3	6	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	笹川西	1	4	1	知的障害
日永	2	11	2	知的障害・情緒障害	三重西	2	6	2	知的障害・情緒障害
四郷	2	8	2	知的障害・情緒障害	大谷台	2	4	2	知的障害・情緒障害
内部	1	2	1	知的障害	桜台	2	8	2	知的障害・情緒障害
小山田	1	2	1	情緒障害	三重北	1	5	1	知的障害
河原田	1	1	1	知的障害	八郷西	1	2	1	知的障害
川島	2	8	2	知的障害・情緒障害	羽津北	2	6	2	知的障害・情緒障害
神前	1	2	1	知的障害	内部東	2	6	2	知的障害・情緒障害
桜	3	8	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	中央	1	4	1	知的障害
県	1	5	1	知的障害	楠	1	4	1	情緒障害
三重	3	8	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由	合計	75	248	75	

(2)中学校

校名	学級	生徒数	教員	内 容	校名	学級	生徒数	教員	内 容
中部	2	6人	2人	難聴・知的障害	朝明	1	4人	1人	情緒障害
橋北	1	1	1	知的障害	保々	1	4	1	情緒障害
港	1	1	1	知的障害	常磐	2	4	2	知的障害・情緒障害
塩浜	1	2	1	知的障害	西陵	3	7	3	知的障害・情緒障害・肢体不自由
山手	2	6	2	知的障害・情緒障害	西笹川	1	2	1	知的障害
富田	1	1	1	情緒障害	三重平	1	1	1	知的障害
富洲原	2	9	2	知的障害・情緒障害	羽津	2	9	2	知的障害・情緒障害
笹川	1	4	1	知的障害	西朝明	2	5	2	知的障害・肢体不自由
南	2	7	2	知的障害・情緒障害	桜	1	5	1	知的障害
三滝	1	1	1	知的障害	内部	1	4	1	知的障害
大池	2	5	2	知的障害・肢体不自由	楠	1	4	1	知的障害
					合計	32	92	32	

保健・給食

学校給食は、成長期にある児童生徒にバランスのとれた栄養豊かな食事を提供することにより、健康の増進と体位の向上を図り、正しい食事のあり方や望ましい食事習慣を身につけさせ、生涯を通じて健康で活力のある生活を送るための基礎を培うことを目指している。

- ・ 米飯は、地場産の特別栽培米を利用して、週2.5回米飯給食を実施している。パンは県内産の小麦粉を20%混入して、地元業者で焼いたパンを週2.5回実施している。
- ・ 副食は旬のもので可能な限り、地場産物を使用し、日本の伝統料理や郷土料理を取り入れている。
- ・ 楠中と楠北幼・楠南幼で実施している給食については、平成22年4月以後全市の中学校、幼稚園と同じ給食方式に統一していく予定である。

1. 学校給食実施状況

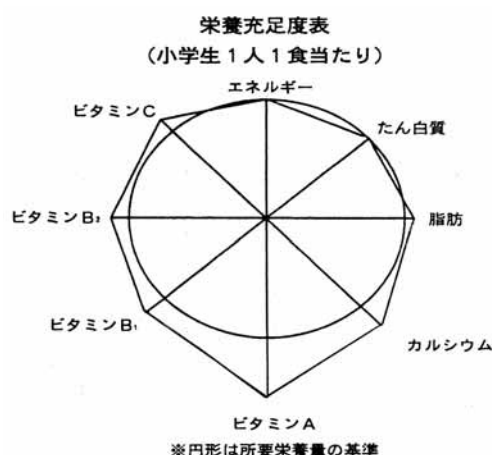
(平成19年度)

区分	小学校	中学校	幼稚園	中学校(ミルク給食)	
実施校数	40校	1校	2園	21校	
対象人員	19,738人	353人	187人	8,238人	
調理員数	217人				
1食当たり額	パン	46円90銭			
	米飯	56円88銭			
	牛乳	43円49銭		43円49銭	
	パン副食	125円26銭			
	米飯副食	115円29銭			
1食当たり経費	215円65銭	245円18銭	196円84銭		
年間実施予定回数	190回	166回	190回	98回	
徴収額 (1ヶ月)	高学年	3,800円	3,700円	3,400円	(年額) 4,300円
	低学年	3,650円			

調理員内訳 正職員59人 6時間パート150人 4時間パート3人 派遣5人

2. 栄養摂取量 (小学校) (平成18年度)

エネルギー	637kcal	
たん白質	25.3g	
脂肪	21.7g	
カルシウム	351mg	
ビタミン	A	396 μgRE
	B ₁	0.48 mg
	B ₂	0.60 mg
	C	28 mg



3. 学校災害件数及び医療費給付額

(金額単位：千円)

区分	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
幼稚園	80	551	83	598	75	566	69	787
小学校	1,174	10,822	1,175	9,690	1,327	10,713	1,313	10,998
中学校	1,045	12,483	1,097	11,867	1,183	33,292	1,268	13,963
合計	2,299	23,856	2,355	22,155	2,585	44,571	2,650	25,748

4. 保健担当者一覧

(平成19年5月1日現在)

職名	配置状況	員数
学校医	1校・園1人、児童・生徒数660人以上の学校は2人配置	63人
学校歯科医		92人
学校薬剤師	本務小学校20人、中学校10人	30人
保健主事	各小・中学校1人	62人
養護教諭	〃(常磐小・日永小・大矢知興譲小各2人) (川島小巡回養護を含み2人)	66人

5. 児童・生徒の体格平均値比較

(1) 小学校

(平成18年度)

区分		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		男	女	男	女	男	女
6 歳	四日市市	116.1	115.1	21.1	20.5	64.8	64.4
	三重	116.4	115.4	21.4	20.8	64.8	64.4
	全国	116.6	115.8	21.5	21.0	64.9	64.5
7 歳	四日市市	121.7	121.4	23.6	23.1	67.3	67.4
	三重	122.3	121.4	24.1	23.5	67.6	67.3
	全国	122.5	121.7	24.2	23.6	67.7	67.3
8 歳	四日市市	127.9	127.0	26.9	26.2	70.1	69.8
	三重	127.9	127.2	27.2	26.5	70.2	69.9
	全国	128.3	127.4	27.4	26.6	70.3	70.0
9 歳	四日市市	133.1	132.9	30.5	29.8	72.5	72.6
	三重	133.3	133.1	30.7	29.8	72.6	72.6
	全国	133.6	133.5	30.9	30.1	72.7	72.8
10 歳	四日市市	138.2	139.6	33.9	33.4	74.5	75.6
	三重	138.6	139.7	34.3	34.0	74.8	75.7
	全国	138.9	140.2	34.5	34.2	75.0	76.0
11 歳	四日市市	144.6	146.2	38.2	38.6	77.3	78.8
	三重	144.7	146.7	38.8	39.1	77.6	79.2
	全国	145.1	147.0	38.8	39.5	77.8	79.4

(2) 中学校

(平成18年度)

区 分		身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)	
		男	女	男	女	男	女
12 歳	四日市市	152.2	151.8	44.4	43.6	81.4	82.4
	三重県	152.2	151.8	44.3	44.1	81.4	82.2
	全 国	152.6	152.0	44.9	44.4	81.4	82.2
13 歳	四日市市	159.6	154.7	49.1	46.7	85.1	83.9
	三重県	159.4	154.7	49.6	47.2	84.9	83.8
	全 国	159.8	155.2	49.9	47.9	85.0	83.9
14 歳	四日市市	164.7	156.3	54.3	49.7	88.0	85.0
	三重県	164.8	156.4	54.9	50.4	88.0	84.9
	全 国	165.3	156.7	55.1	50.6	88.0	84.9

6. 小中学校自然教室

野外活動を通して、自然にふれる楽しさを味わうとともに、集団生活を通して人間的ふれ合いを深め、相互の理解と信頼を高めることを目的にしている。また、様々な体験活動を通して、生きる力の基盤となる自己判断力、自律性、協調性を身につけることに役立っている。

区 分	小 学 校	中 学 校
実 施 期 間	6月21日～11月30日	4月24日～2月27日
対 象 校	40校(2,976人)	22校(3,057人)
実 施 場 所	四日市市少年自然の家	四日市市少年自然の家 鈴鹿青少年センター等

中学校卒業生進路状況

(各年5月1日現在)

年 度	進 学 者		就 職 者、他		合 計	
	人	%	人	%	人	%
平成5	3,405	96.7	117	3.3	3,522	100.0
6	3,353	96.5	121	3.5	3,474	100.0
7	3,168	97.1	93	2.9	3,261	100.0
8	3,039	96.4	115	3.6	3,154	100.0
9	3,029	97.2	88	2.8	3,117	100.0
10	3,163	96.8	106	3.2	3,269	100.0
11	2,978	96.9	95	3.1	3,073	100.0
12	2,930	96.8	96	3.2	3,026	100.0
13	2,903	97.0	92	3.0	2,995	100.0
14	2,962	96.7	102	3.3	3,064	100.0
15	2,818	96.8	94	3.2	2,912	100.0
16	2,820	97.4	74	2.6	2,894	100.0
17	2,711	97.2	77	2.8	2,788	100.0
18	2,809	97.8	64	2.2	2,873	100.0

奨学金事業

1. 貸与内容 (平成18年度)

名 称		四日市市奨学会
対 象 者		経済的理由により、修学困難な四日市市民又はその子。
貸与額	大学、短大、 専修学校(専門課程)	23,000円/月 入学支度金 35,000円 貸与総額 27,631千円
	高校、高専、 専修学校(高等課程)等	12,000円/月 入学支度金 30,000円 貸与総額 3,322千円

2. 貸与状況 (新規貸与者数)

年 度	高校生 (専修学校)	大学生 (専修学校)	合 計
平成9	6	30(3)	36(3)
10	6	24(1)	30(1)
11	6	23(3)	29(3)
12	6	26(3)	32(3)
13	8	26(3)	34(3)
14	14	28(1)	42(1)
15	10	37(4)	47(4)
16	2	27(3)	29(3)
17	11	32(12)	43(12)
18	12	29(4)	41(4)

()は専修学校で内数

3. 奨学金の返還

事 項	返還開始日	返還月数	返還方法	返 還 日
	貸与の必要がなくなった日から 1年を経過した日の翌日	10年を限度	半年賦 又は年賦	毎 年 度 (4月1日～1月31日)

私学助成

(平成19年度)

私立学校の教育条件の維持向上並びに経営の健全性を高める次の助成措置を行う。

区 分	運営費補助 (設置者補助)	建設費補助	教員研修費 補助
幼稚園	1園年額 400,000円 + 100円 × 園児数 + 670円 × 内科検診実施園児数 + 440円 × 歯科検診実施園児数	要綱補助	(園長 + 教員) × 10,000円
小学校	市内在住児童1人年額 市内に設置されている学校の場合 4,500円 市外に設置されている学校の場合 3,600円	予算補助	
中学校	市内在住生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 4,500円 市外に設置されている学校の場合 3,600円	予算補助	
高等学校等	市内在住生徒1人年額 市内に設置されている学校の場合 4,500円 市外に設置されている学校の場合 3,600円	予算補助	

就学援助

経済的な理由によって公立の小学校及び中学校に就学することが困難な児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の援助を行う。

18年度実績

(単位：円)

区 分	金 額
小学校	107,127,821
中学校	52,176,390
計	159,304,211

就園奨励

幼稚園教育の振興を図るため、市内の公私立幼稚園に就園する園児の保護者(四日市市民)に対し、世帯の経済状況に応じ、入園料・保育料の減免措置を講じる。

学校英語教育充実事業

国際化時代に生きる本市の子どもの英語力の育成をめざして、姉妹提携を結んでいる米国・ロングビーチ市の青年や文部科学省等の事業に参加した青年(11名)を招致し、市内中学校の英語指導員として英語学習、並びに小・中学校教員を対象とするの語学(英会話)研修などの指導にあたる。また、小学校にも外国人英語指導員を派遣(委託業者から7名派遣)し、体験的な英語活動を行う。

- 1.人数 ・ 18名
- 2.対象 ・ 市内全小・中学校
- 3.職務内容 ・ 日本人教師とともに中学生の英語学習指導、小学生の英語活動にあたる。
・ 小・中学校教員の語学研修講師を務める。
・ 小中学校での国際理解教育の推進にあたる。

市立幼稚園施設

(平成19年5月1日現在)

園名	所在地	創立年月日	教職員数	園児数	学級数
四日市	元町 10-4	明 28.10.1	3 (3)	56	2
富田	富田 1 丁目 24-26	大 15. 7. 3	3 (4)	60	3
泊山	前田町 1-19	昭 21.11. 4	5 (7)	137	4
海蔵	大字東阿倉川 580	昭 22. 6.18	4 (4)	105	4
納屋	蔵町 5-8	昭 28.10.26	2 (3)	29	1
内部	采女町 911	昭 29. 5. 1	5 (3)	113	4
川島	川島町 1725-1	昭 29. 4.10	2 (4)	70	2
神前	高角町 338-1	昭 28. 4.10	3 (2)	34	1
三重	東坂部町 110-1	昭 29. 5. 5	3 (1)	48	2
橋北	高浜町 1-4	昭 31. 5.10	2 (1)	16	1
保々	西村町 2738	昭 31. 4.10	4 (2)	59	2
下野	朝明町 464	昭 37. 4. 1	3 (2)	48	2
羽津	大宮西町 19-22	昭 40. 4. 1	4 (5)	94	4
富洲原	富洲原町 31-14	昭 41. 4. 1	4 (2)	71	3
高花平	高花平 2 丁目 1-56	昭 44. 4. 1	2 (4)	54	2
大矢知	大矢知町 3255	昭 46. 4. 1	2 (3)	58	2
八郷中央	千代田町 265-1	昭 47. 4. 1	3 (2)	42	2
桜	桜町 1420	昭 48. 4. 1	5 (5)	97	4
常磐中央	ときわ五丁目 4-53	昭 49. 4. 1	5 (6)	101	4
塩浜	大字塩浜 887-1	昭 50. 4. 1	2 (2)	14	1
笹川中央	笹川三丁目 157	昭 52. 4. 1	3 (6)	68	3
三重西	三重三丁目 130	昭 52. 4. 1	3 (2)	54	2
楠北	楠町北五味塚 2060-63	昭 39. 4.	5 (3)	128	4
楠南	楠町南五味塚 275 - 1	昭 45.11. 5	2 (2)	47	2
合 計〔24園〕			79 (78)	1,603	61

()は嘱託、臨時等で外数

用務員は、教職員数からは除く

橋北幼、納屋幼、神前幼及び塩浜幼は、混合1クラスで算出

市立学校施設

1. 小学校

(平成19年5月1日現在)

校名	所在地	創立 年月日	教職員数	児童数	学級数	教室数	
						普通	特別
中部西	北町 2-23	明 5.3.15	人 27	人 357	13 (2)	13	6
浜田	北浜田町 13-6	明 8.9.20	25	498	18 (2)	18	7
西橋北	川原町 25-22	大 5.5.20	12	173	12 (0)	12	6
東橋北	東新町 26-32	昭 11.8.21	13	96	10 (2)	10	6
海蔵	大字東阿倉川 578-1	明 8.7.1	33	714	26 (2)	26	6
塩浜	塩浜町 1	明 8.11.2	17	234	16 (2)	16	6
三浜	海山道町一丁目 1532-1	昭 31.4.1	13	127	12 (2)	12	7
富田	富田一丁目 24-49	明 20.7.1	31	564	20 (3)	20	7
富洲原	富洲原町 31-14	明 9.9.30	29	662	25 (2)	25	8
羽津	大宮町 16-35	明 7.5.10	25	450	23 (3)	23	7
常磐	城西町 9-14	明 8.12.5	45	802	32 (3)	32	8
常磐西	大字松本 764	昭 48.4.1	33	681	25 (3)	25	6
日永	日永四丁目 5-13	明 8.11.10	38	698	17 (2)	17	6
泊山	大字日永 5530-19	昭 46.4.1	25	487	27 (2)	27	7
四郷	西日野 3207-1	明 9.2.4	22	422	13 (2)	13	6
笹川東	笹川六丁目 25	昭 48.4.1	21	298	13 (2)	13	6
笹川西	笹川五丁目 62	昭 50.4.1	22	330	28 (1)	28	6
高花平	高花平二丁目 1	昭 38.5.7	19	326	15 (2)	15	6
内部	采女町 888-1	明 7.2.3	32	662	27 (1)	27	7
小山田	山田町 1373-1	明 8.12.1	16	242	22 (1)	22	6
河原田	河原田町 70	明 8.11.9	17	263	18 (1)	18	6
川島	川島町 2046	明 8.11.28	37	815	29 (2)	29	7
神前	曾井町 493-1	明 8.2.4	20	336	21 (1)	21	7
桜	桜町 1257	明 8.7.1	30	521	23 (3)	23	7
梟	赤水町 1002	明 7.5.4	23	459	19 (1)	19	6
三重	東坂部町 222-2	明 8.11.1	23	419	11 (3)	11	6
三重西	三重三丁目 129	昭 50.4.1	23	434	13 (2)	13	6
大谷台	大谷台一丁目 204	昭 50.4.1	28	606	16 (2)	16	6
大矢知興讓	大矢知町 1212	明 7.3.16	43	865	15 (4)	15	6
八郷	平津町 99-1	明 25.6.1	30	647	25 (1)	25	6
下野	朝明町 475-1	明 9.3.1	25	505	24 (2)	24	6
保々	西村町 2741	明 7.4.25	29	492	29 (2)	29	7
水沢	水沢町 2491	明 8.12.4	16	229	24 (2)	24	7
桜台	桜台一丁目 32	昭 52.4.1	21	415	21 (2)	21	7
三重北	山之一色町 90	昭 53.4.1	18	297	19 (1)	19	7
八郷西	萱生町 1086	昭 53.4.1	15	233	11 (1)	11	6

羽津北	大字羽津 500	昭 57.4.1	26	467	19 (2)	19	6
内部東	采女町 423-4	昭 59.4.1	31	605	24 (2)	24	6
中央	元新町 2-36	平 7.4.1	16	248	13 (1)	13	8
楠	楠町北五味塚 2060-9	明 8.11.20	31	666	14 (1)	14	6
合 計 [40 校]			1,000	18,363	601 (75)	782	259

2. 中学校

(平成19年5月1日現在)

校 名	所 在 地	創立年月日	教職員数	生徒数	学級数	教 室 数	
						普通	特別
中部	西浦二丁目 5-36	昭 22.4.15	人 30	人 352	16 (2)	16	10
橋北	高浜町 1-4	昭 22.4.15	14	117	6 (1)	6	8
港	十七軒町 10-41	昭 22.4.15	19	232	11 (1)	11	8
塩浜	大字塩浜 4096	昭 22.4.15	18	176	12 (1)	12	10
山手	大字東阿倉川 70	昭 22.4.15	37	567	23 (2)	23	10
富田	東茂福町 4-19	昭 22.4.15	21	279	16 (1)	16	8
富洲原	天ヶ須賀五丁目 3-10	昭 22.4.15	24	326	16 (2)	16	8
笹川	西日野町 268-2	昭 22.4.15	26	377	18 (1)	18	10
西笹川	笹川四丁目 104	昭 51.4. 1	23	319	18 (1)	18	11
常磐	大字松本 810	昭 48.4. 1	43	694	17 (2)	17	9
南	前田町 18-17	昭 22.4.15	39	625	25 (2)	25	11
三滝	高角町 2068-2	昭 22.4. 1	25	366	20 (1)	20	10
大池	下海老町 2662-1	昭 22.4. 1	30	510	10 (2)	10	8
朝明	平津町 409-2	昭 22.4. 1	36	657	23 (1)	23	11
西陵	西山町 7229	昭 51.4. 1	21	231	12 (3)	12	8
保々	西村町 2787-2	昭 22.4.15	19	227	20 (1)	20	10
三重平	三重八丁目 1	昭 52.4. 1	18	223	15 (1)	15	9
羽津	大字羽津甲 26	昭 54.4. 1	28	449	16 (2)	16	8
西朝明	北山町 1169	昭 54.4. 1	25	342	16 (2)	16	8
桜	桜町 1064	昭 57.4. 1	33	534	21 (1)	21	9
内部	波木町 697	昭 60.4. 1	38	634	18 (1)	18	9
楠	楠町北五味塚 2092	昭 22.4.15	22	327	15 (1)	15	11
合 計 [22 校]			589	8,565	249 (32)	364	204

()内は障害児学級数を示した外数

用務員・調理員は教職員数から除く

市内私立文教施設

1.私立小・中学校

(平成19年5月1日現在)

学 校 名	所 在 地	創 立 年	教 員 数	児 童 ・ 生 徒	学 級 数
暁 小 学 校	蒔田三丁目3-37	昭23	41人	460人	18
暁 中 学 校	萱生町238	昭23	30	519	13
海 星 中 学 校	追分一丁目9-34	昭31	34	198	8
メリノール女子学院中学校	平尾町2800	昭38	34	158	6
合 計〔4校〕			139	1,335	45

教員数には兼務者を含む

2.私立幼稚園

(平成19年5月1日現在)

園 名	所 在 地	創 立 年 月 日	教 員 数	園 児 数	学 級 数
暁	天ヶ須賀五丁目2-5	昭21	22人	199人	9
双 葉	三栄町5-3	昭12	2	2	1
工 ン ゼ ル	千代田町459	昭31	25	487	15
富 田 文 化	大字茂福905-4	昭35	22	170	9
羽 津 文 化	別名五丁目4-31	昭46	24	232	11
ひ か り	伊倉二丁目8-23	昭36	15	254	10
ま き ば	松本三丁目1-37	昭46	14	120	6
海の星カトリック	十七軒町2-4	昭39	6	75	3
あ お い	大矢知町2700	昭42	47	480	17
桜 あ お い	智積町6104	昭53	34	338	12
と き わ	西松本町15-10	昭44	27	269	9
津 田 第 一	笹川一丁目106-2	昭47	30	375	14
津 田 第 二	笹川七丁目52	昭49	16	176	8
津 田 三 滝	川島町6513	昭53	17	166	8
め ぐ み の 園	室山町475-1	平 7	12	114	5
合 計〔15園〕			313	3,457	137

教員数には兼務者を含む

社会教育・文化財

社会教育

平成 17 年度に機構改革によって生涯学習課が担っていた地区市民センターを中核とする地域の社会教育活動や市民大学、生涯学習いきいき出前講座、なや学習センターの活用など生涯学習の機会提供が、あらたに設けられた市民文化部市民文化課の所管となり、社会教育団体の支援等が、教育委員会の所管する社会教育となった。

<平成18年度主要事業>

(1) 社会教育関係団体の支援

四日市市PTA連絡協議会が設立目的にあった活動ができるよう支援した。

(2) 学校施設(教室)開放の推進

地域住民の学習活動、地域活動を推進するため、39小学校3中学校の学校施設(教室)開放を行った。

(3) 子どもの読書活動推進

「四日市市子どもの読書活動推進計画」に基づいて、市民を中心とした推進会議の開催や絵本の読み聞かせ会や本のあるまち事業などを実施した。

(4) その他

成人式企画委員会を設置し、記念式典のほか、20年間の思いでのアルバム上映及び四日市吹奏楽団の演奏、合唱などを行った。

(1月7日(日) 四日市市文化会館 参加者数 約2,300人)

文化財

四日市市で生まれ、培われてきた文化財は、地域への愛着や郷土意識を生み出す重要な文化資源であり、それらの保護・活用は、市民が自己を高め生きがいをもって暮らせる街づくりの一助となるものである。

そこで、これらの文化財を保護するとともに、その活用を図り、文化財に対する市民の関心と理解を深めることに努める。

<平成18年度主要事業>

1 文化財の指定

- ・ 槍 銘 雲林院住包治 (県指定有形文化財 工芸品 平成19年3月27日指定)
- ・ 久留倍官衙遺跡 (国指定記念物 史跡 平成18年7月28日指定)

2 文化財の整備・維持管理

・ 指定文化財の修理・整備

市指定無形民俗文化財「南楠鯨船行事」台船、市指定有形文化財 建造物「龍王山宝性寺」の修理に対して補助

・ 文化財説明板の修理・整備

取り替え

- ・ 国指定天然記念物「御池沼沢植物群落」
- ・ 市指定無形民俗文化財 「椿岸神社獅子舞」

新設

- ・国指定記念物 史跡 「久留倍官衙遺跡」

・文化財指定地などの除草・清掃

御池沼沢植物群落・東阿倉川イヌナシ自生地・西阿倉川アイナシ自生地・桜町シデコブシ自生地・広古墳A群・大膳寺跡・旧四日市市役所四郷出張所・天武天皇迹太川御遥拝所跡・茂福城跡・冠山茶の木原など

・文化財パトロール

埋蔵文化財や天然記念物などの現状及び環境保全の状況把握を行う調査(埋蔵文化財担当調査員6人・天然記念物担当調査員1人)

3 文化財保護の普及・啓発

- ・文化財防火デー(文化財収蔵施設の予防査察と消防訓練 1/22～1/28)
- ・発掘展(四日市市立博物館 7/19～8/27)
- ・発掘出土品の展示(四日市市役所ロビー)
- ・発掘調査現地説明会(11/11)
- ・出前講座
- ・文化財整理作業所の見学

4 埋蔵文化財の発掘調査等

開発計画地内に所在する遺跡で、現状保存が困難なものについて発掘調査を実施し、その記録保存に努めるとともに、文化財整理作業所において出土遺物の整理・復元作業や保管・展示を行っている。

- ・発掘調査...久留倍遺跡(2箇所)
- ・試掘調査...小判田遺跡など8遺跡
- ・工事立会...大膳寺跡など40遺跡

博 物 館

近年の急激な社会情勢の変貌は、市民の郷土や風土に対する学習意欲を高めるとともに、余暇時間の増大をもたらし、生涯学習をますます重要なものとしつつあるが、その反面、長く残されてきたかけがえのない文化遺産を消滅の危機に追いやっているのが現状である。

こうしたことから、重要な文化遺産の保存と活用を図り、郷土の歴史や風土と生活環境に関する市民の知識と理解を深め、今後の市民文化の創造に寄与する生涯学習の場のひとつとして博物館を設置し、平成5年11月1日に開館した。

なお、博物館には、内径18.5mの傾斜型ドームのプラネタリウムを併設しており、市民を宇宙の神秘へ誘うとともに、天文知識の普及と啓発に努めている。

基本理念

1 市民の創造性を高めます。

これからの豊かなまちづくりには市民の創造性が必要です。文化の振興によって創造性豊かな人材を養成し、市民の活力を引き出して都市の力を高め、市外からも創造的な人材が集まるようにして魅力ある都市を形成していくことが理想です。その実現のために四日市市の文化資産のひとつである市立博物館は、市民一人ひとりの多様な個性に対応し、文化の多様性を認め合いながら、それぞれがより豊かな個性に育っていくよう、多彩な内容のものを学習できる機会を作っていきます。これまで地域に培われてきた文化を伝えるだけでなく、市民一人ひとりの個性の創造に寄与してその成果として現れる新たな文化の創造に尽くしていきます。

2 郷土を大切にすることを育みます。

郷土から世界の国々、果ては宇宙に至る多様な自然、歴史や文化について、様々な角度から取り上げます。直接あるいは他地域との違いにより間接的に郷土に対する市民の理解を深め、そのことにより、よりよいまちづくりの基盤を形成し、郷土を大切にすることを育むとともに、他の地域や外国との発展的な関係を生む基礎を形成します。

3 世代をつなぎます。

これまで当博物館は、公立の施設としての特色を活かして、郷土の先人が創り出した文化遺産を保全し、知識を蓄えてきました。これらは、郷土のかけがえのない文化的財産であり、今後もこれらの蓄えを増やし、効果的に運用しながら確実に次の世代に引き継ぎ、世代と世代をつないでいきます。また、これらの文化的財産を活用した世代間の交流の場をもち、永続的に市民文化を継承するとともに、この地域の新たな特色ある文化の創造に寄与します。

4 歴史を未来に活かします。

四日市市立の当博物館は、四日市市の行政組織のひとつとして、これまでに蓄えた歴史的資料や知識、施設を活用し、われわれが現在直面している様々な問題について考える場としての役割を担い、よりよいまちづくりを目指します。

5 学校教育をより豊かなものにします。

学校教育のカリキュラムに対応した展示やプラネタリウム投映を実施し、教科書では行うことのできない方法で子どもたちに歴史や自然科学を体験させ、教室での授業をより豊かなものとします。また、質の高い文化・芸術にふれることにより、豊かな人間性を備えた子どもが育成されるよう学校教育を支援します。

施設概要

敷地面積	1,845.84㎡	
建築面積	1,590.40㎡	
延床面積	10,147.11㎡	
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造	地下2階地上6階建
6階	373.48㎡	プラネタリウム
5階	1,340.81㎡	プラネタリウム、天文展示コーナー、天文学習室
4階	1,343.05㎡	特別展示室
3階	1,251.01㎡	常設展示室、サルビアギャラリー、丹羽文雄記念室
2階	1,321.33㎡	常設展示室、市民ギャラリー
1階	1,466.32㎡	エントランスホール、講座室、ショップ、情報コーナー
地下1階	1,536.71㎡	収蔵庫、スタジオ、資料整理室、くん蒸室
地下2階	1,514.40㎡	収蔵庫、設備機械室、電気室、監視室
総事業費	7,556,038千円	

博物館事業

・常設展

基本テーマ「伊勢湾(うみ)と鈴鹿山脈(やま)のある四日市の文化と生活環境」をもとに、地質時代から現代に至る“四日市のあゆみ”をその時代ごとの特色を生かし、テーマ1からテーマ6に分けて展示している。

常設展示内のサルビアギャラリーでは、学習支援展示や収蔵品展示を随時行っている。

各テーマのスペースでは、そのテーマのメインとなる展示とその他の詳細な展示に分け、展示資料に応じて実物や複製品、情景模型のほか映像や図表などで表現している。

テーマ1 北勢地域のおいたちと自然環境

「自然のすがた」、「大地のおいたち」、「化石は語る」など、現在までの伊勢湾や鈴鹿山脈、伊勢平野の地形と地質の成り立ち、自然環境の様子を取り上げている。

テーマ2 原始・古代の人びとの生活

「石器を使った人びと」、「土器を使った人びと」、「米づくりと青銅器の製作」、「大和朝廷と北勢地域」、「古墳の築造と渡来人の活躍」、「律令国家への道」など、旧石器時代から平安時代までの人びとの生活の様子を取り上げている。

テーマ3 “四日市”と“四日市庭浦”の成立

「中世の武士と商人」、「伊勢湾諸湊と四日市庭浦の成立」、「くらしと生活用具」、「いのりと信仰の世界」など、田原美作守忠秀が浜田に築城して街道を城の東に移し、定期的に市が開かれて“四日市”の名称が起こったこと、伊勢湾の水運にも“四日市庭浦”が重要な役割を果たしたことなど、鎌倉時代から安土桃山時代までの様子を取り上げている。

テーマ4 東海道と伊勢参宮道の賑わい

「近世への胎動」、「宿場と東海道」、「四日市湊と町の展開」など、四日市が東海道五十三次の43番目の宿駅として、また、日永にあつては、伊勢参宮道との分岐点として次第に交通の要衝の地として発展してきた江戸時代の様子を取り上げている。

テーマ 5 四日市港と近代産業の発展

「みなとの整備」、「近代の暮らしと社会」、「地場産業と近代産業」など、四日市港の改修と、製糸、萬古焼、製茶、製網、製油などの地場産業に焦点を当てるとともに、市制を施行し、次第に市域を拡大していく幕末・明治から昭和初期までの近代の様子を取り上げている。

テーマ 6 戦災からの復興と都市の創造

「戦中から戦後のあゆみ」、「港湾・産業都市としての再生」など、甚大な被害をもたらした四日市空襲からの復興と、産業都市として再生してきた現代の様子を市民生活と産業の二つの視点から取り上げている。

丹羽文雄記念室 四日市市名誉市民で、文化勲章受章作家の丹羽文雄の文学と人となりを展示

・特別展・企画展

常設展の内容をさらに深めることを基本として、全国的あるいは世界的な広がり資料の展示等を中心に様々な分野でのテーマを取り上げ、特別展・企画展を年数回開催する。

また、その期間中テーマに沿った講演会・講座を適宜実施する。

(平成19年度開催)

特別展等 恐竜と生命の大進化 - 中国雲南 5 億年の旅 -
ロンドン発！ゆかいなからくり人形展
伊藤利彦の見た世界 - 絵画からレリーフへ -
故郷からのおくりもの - 高橋まゆみ創作人形の世界 -
昭和はくぶつかん - 懐かしい暮らしの道具 -
49回 北勢地区高等学校美術展

カルチャー 収蔵品展示

学習支援展示 大昔の四日市 - 弥生時代と古墳時代
四日市空襲と戦時下の暮らし
四日市の焼き物 - 萬古焼 -

・教育普及活動

博物館事業に親しみ市民の生涯学習を支援するため、各種講演会・講座・教室を開催する。こうした博物館の活動を広く市民に知らせ、学校教育との連携をはかるためホームページ等の充実を図る。

また、博物館専門職員である学芸員の資格取得に必要な博物館実習課程履修のため、各大学から要請のあった学生を受け入れ、博物館業務を実習させる。博物館活動の目的のひとつである生涯学習の場の充実のため博物館ボランティア、平成15年度から学校団体からの見学や博物館教室の子どもたちの活動をサポートする学習支援ボランティアの充実を図っている。また古文書ボランティアを受け入れ、所蔵資料の解読、整理を継続し、その成果を『研究紀要』に掲載する。

・資料の収集保存活動

最も基本的な機能であり、公立博物館として広く四日市市に関連のある資料の購入・収集の充実を図り、その保存に努める。

なお、収集資料上の専門事項について、審議または指導・助言を行うため「資料委員会」を設置している。

・調査研究活動

博物館専門職員としての資質を高め、専門分野の学術的探求、また内容豊かな特別展等の開催に資するため、各種情報の収集に努めつつ調査研究活動を行い、『研究紀要』を発行する。

[平成19年度調査予定] 絵画作品調査、各種企画展・特別展調査など

プラネタリウム事業

プラネタリウムでは、様々な投映機器を駆使して、観覧者をはるか星空の世界へと誘う。また、移動天文車による観望会などを市内各地で行い、身近な所から宇宙を観望してもらう。

・プラネタリウム投映事業

四季の星空と宇宙のテーマを合わせた季節番組や特別番組(生演奏コンサート、CDコンサートなど)により、星座や宇宙・天文の世界を提供する。

保育園、幼稚園、小学校の年齢・学年等に応じた学習プラネタリウムも行っている。

また、天文学の最前線で活躍する講師を招いて天文・宇宙の最近の話題や成果をわかりやすく解説する企画「宇宙塾」の実施や、どなたにもプラネタリウム投映を楽しんでいただくため、解説に字幕を付けたり、赤外線補聴装置の貸出しも行っている。

・教育普及活動

「天文教育研修」、「子ども天文教室」、「公開観望会」など幅広く天文普及活動を行う。また、三泗地区内にある中学校や小学校と連携した出前授業(移動式プラネタリウム・立体映像システムを活用)も行っている。

・天文展示コーナー

テーマ展示を「宇宙観5000年の歴史」とし、古代から現代にいたる宇宙観の歴史をわかりやすくパネルで展示している。また天体写真や実物の隕石も展示して宇宙の神秘にふれるコーナーを設けている。

さらにパソコンによる天文シミュレーション、天文教材ビデオや日本の探査機「はやぶさ」による小惑星イトカワ探査のようすを見ていただくコーナーを設置している。また、プラネタリウム番組に合わせた展示も行っている。

・移動天文車「きらら号」

口径20cmの高性能天体望遠鏡と直径2mの観測ドームを備えた全国でも数台しかない「動く天文台」として、市内各地に出向き観望会を実施する。観望会には天文ボランティア(48名)が交代で参加協力する。また、天文事象(見頃の惑星など)をとらえた博物館主催の観望会も実施し、神秘の宇宙の姿を紹介していく。

博物館協議会

博物館法第20条に基づき、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べる機関として設置している。

[委員数15名：定例会 年2回開催]

・入館者の状況

*印は前年度からの展覧会を含む

年度	開館日	常設展	特別展等	プラネタリウム	合計	備考
12年度	307日	29,966人	41,432人	29,317人	100,715人	特別展3回・企画展6回
13年度	305日	34,758人	44,082人	31,011人	109,851人	特別展3回*・企画展4回
14年度	304日	36,058人	56,309人	30,689人	123,056人	特別展5回
15年度	301日	24,093人	28,413人	34,591人	87,097人	特別展4回
16年度	301日	22,626人	29,498人	32,333人	84,457人	特別展2回・企画展3回
17年度	296日	24,171人	26,940人	42,519人	93,630人	特別展4回・企画展1回
18年度	297日	30,978人	33,098人	35,264人	99,340人	特別展2回・企画展3回

所在地 〒510-0075 四日市市安島一丁目3番16号 TEL (059)355-2700(代表)

ホームページアドレス <http://www.city.yokkaichi.mie.jp/museum/>

開館時間 午前9時30分から午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日(祝日の場合はその翌日)、年末年始

臨時休館日(平成19年度は、9月4日～9月13日)

観覧料

区分	博物館特別展示1人1回につき	プラネタリウム1人1回につき	プラネタリウム特別番組1人1回につき
一般	2,100円の範囲内で委員会が定める額	530円	2,100円の範囲内で委員会が定める額
大学生・高校生		370円	
中学生・小学生		200円	

常設展示は無料

20人以上の団体入館者は8割の額

観覧料の減免 市内及び三重郡の小中学校が学校行事として利用する場合10割、障害者5割、特別展示を観覧した者が常設展示を観覧する場合10割減免

消費税相当額加算免除 中学生以下、障害者

施設使用

室名	午前(9:30～12:00)	午後(13:00～17:00)	全日(9:30～17:00)
特別展示室(4F) 595 m ²			31,500円
講座室(1F) 142 m ²	8,400円	12,600円	21,000円
市民ギャラリー(2F) 94 m ²			2,100円

観覧料等を徴収する場合は5割増し。

博物館の設置目的に反しないもの、事業に支障のないものに限る。

商業宣伝、営業行為には使用できない。

図 書 館

平成19年度運営方針

市民の知的欲求に応じて、その満足度の向上に資するため、図書館の使命を明確にして、資料の収集整備とサービスの質的向上を進め、老朽化する施設を適切に維持管理しながら、30万都市にふさわしい「市民の図書館」づくりに努める。

市民の多様な学習要望に応えられるよう、適切な蔵書の整備充実に努める。

人権・同和問題関係図書・資料の収集・提供に努める。

利用者サービスの一層の向上とレファレンス業務の一層の充実に努め、自動車文庫による地域利用者サービスの一層の向上に努める。

点字・録音資料室の整備を図るとともに、活字での読書が困難な方へのサービスに努める。

市内はもとより、三重県内および周辺地域の地域資料の情報の把握に努め、地域資料の一層の充実と積極的な活用を図り、将来的に地域資料室の拡充に備える。

図書館にふさわしい講座・講演会を開催し、図書館利用者の拡大に努めるとともに、子ども読書活動推進に向け児童室業務の充実に努める。

あさけプラザ図書館や楠公民館図書室とネットワーク化を円滑に進めるとともに、三重県図書館情報ネットワークなどインターネットを活用し、また、「桑名市」「いなべ市」など周辺市・町との連携により広域利用の充実と円滑化を図る。

広報・ホームページを利用した図書館情報の発信や、開架書架の一角に設置した「テーマコーナー」の充実と展示によって、蔵書の広報に努める。

近鉄四日市駅周辺の公共施設である市立博物館や四日市市文化会館と密接に事業等の連携を図る。

更新時期を迎えた図書館情報システムを個人情報等のセキュリティーの強化と利用者にも使いやすく、録音・点字資料の検索できるものに短期間に全面的に更新する。

月別事業計画表

月	事業名
4	子ども読書の日読み聞かせ(21日)
6	特別整理期間(6月14日～23日)
7	夏休み絵本の読み聞かせ(21日)
8	手づくり絵本講座(1・2・9日) / 子ども点字教室(3日) / 文化会館パラオ展開連絵本読み聞かせ(7・30日) / 絵本劇場(11日) / 夏休みおはなし会(15日) / 地域学習講座(19日) / 夕すずみおはなし会(24日)
9	読み聞かせボランティア研修(19・26日) / 「読書に関するエッセー」作品募集
10	手づくり紙しばい講座作品展 / 点訳基礎講座・音訳基礎講座(11月) 図書館情報システム更新(15～25日休館)
11	秋の絵本の読み聞かせ
12	冬のおはなし会(22日) / 「読書に関するエッセー」表彰式(16日)
1	絵本劇場(12日)
2	読み聞かせ入門(9・16日)
3	春休みおはなし会(19日)

施設の概要

- ・敷 地 4,738.01m²
- ・構 造 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
- ・開 館 昭和48年7月10日
- ・建物面積 延4,147.42m²

1階	一般成人室	新聞雑誌コーナー15席・参考図書コーナー8席・軽読書コーナー他30席
	児童室	閲覧席66席
	点字・録音資料室	
2階	一般閲覧コーナー	閲覧席40席・パソコン専用席4席
	地域資料室	閲覧席16席
	視聴覚ホール	座席100席
3階	学習室	座席180席
	一般研究室	座席28席
	スナックコーナー	座席30席・図書館不要図書リサイクルコーナー・飲食コーナー
	会議室	座席24席
	研修室	座席12席

業務内容

開 館 時 間	火・水・木・金曜日は午前9時30分～午後7時 土・日曜日及び祝日は午前9時30分～午後5時
休 館 日	毎週月曜日、毎月第2と第4火曜日、特別整理期間(6月中の約10日間)、 年末年始
館 外 貸 出	本市及び三重郡三町の在学、在勤、在学者と桑名市、いなべ市、東員町住民 を対象として1人10冊以内、15日以内で貸し出しする。
自 動 車 文 庫	市内に92カ所の駐車場を設け、2台の自動車文庫で月1回(8月を除く) 巡回し、1人10冊以内で、翌巡回日まで貸し出しする。
資 料 複 写	著作権法の範囲内であれば、申し込みに応じて複写(複写料 白黒1枚10円・ カラー1枚50円)。ただし、図書館資料(一部を除く)に限る。
資 料 相 談	電話、文書、来館のいずれでも可

過去3年間の利用状況

		16年度	17年度	18年度
開館日数		274	274	273
入館者数	年間総数	293,347	276,975	270,320
	1日平均	1,071	1,011	990
登録者数	総登録者数	96,568	101,788	63,441
	個人登録者数(1)	96,393	101,434	63,110
	(うち15才以下)	(12,995)	(13,020)	(12,062)
	点字・録音	-	113	94
	団体登録者	175	241	247
	個人登録率(%) (2)	32.4	32.8	20.3
貸出冊数		855,365	854,792	873,686
	本館	787,611	785,414	807,069
	(うち雑誌)	(18,383)	(18,536)	(27,591)
	自動車文庫	66,388	67,770	64,892
	(うち雑誌)	(620)	(594)	(675)
	点字録音:タイトル(冊)	1,366(7,861)	1,608(9,184)	1,725(9,956)
	録音	1,322(7,773)	1,564(9,117)	1,665(9,813)
	点字	44(88)	44(67)	60(143)
	市民1人当り貸出数	2.9	2.8	2.8
	日曜日の1日平均貸出数	3,862	3,734	3,781
	1日の最多貸出数	5,110	4,989	5,968
調査相談 件数	総数	5,140	4,827	5,194
	口頭	4,986	4,659	4,988
	電話	152	161	194
	文書・メール	2	7	12
予約 リクエスト	総数	21,512	26,774	32,733
	本館 (窓口)	18,228	19,569	18,571
	本館 (インターネット)	-	3,303	9,689
	自動車文庫	3,284	3,902	4,473
複写	件数	5,198	4,798	4,668
	枚数	37,439	33,150	29,710
人口(3)		297,284	310,710	312,996

1 個人登録者数は平成18年度から、5年以上未利用者数を除いた。

2 個人登録率 = (個人登録者 + 点字・録音) ÷ 人口

3 平成16年度の人口は10月1日現在、平成17・18年度は3月31日現在

蔵書統計（平成19年3月末現在）

図書区分	受入冊数	払出冊数	増減冊数	年度末蔵書数
本館成人	13,456	7,041	6,415	275,903
成人図書	9,117	5,933	3,184	233,732
地域資料	563	79	484	18,178
参考図書	365	58	307	10,014
外国語図書	2,959	778	2,181	3,496
製本雑誌	144	33	111	3,924
人権啓発図書	308	160	148	6,559
本館児童	3,091	1,262	1,829	70,782
児童図書・紙芝居	2,655	1,216	1,439	68,578
人権啓発図書	12	43	-31	587
なのはな文庫	424	3	421	1,617
本館雑誌(成人・児童)	2,858	2,416	442	3,496
点字・録音資料	80(433)	155(391)	-75(42)	4,431(18,262)
点字 タイトル/()内冊数	21(154)	73(108)	-52(46)	1,310(5,893)
録音 タイトル/()内冊数	59(279)	82(283)	-23(-4)	3,121(12,369)
自動車文庫	2,269	1,699	570	49,541
成人図書	1,765	1,618	147	29,080
人権啓発図書(成人)	1	2	-1	946
児童図書・紙芝居	503	79	424	19,400
人権啓発図書(児童)	0	0	0	115
自動車文庫雑誌	83	191	-108	486
総計	21,837	12,764	9,073	404,639

資料区分				
その他資料				
人権関係施設(四館所)	164	0	164	6,696
地図	7	0	7	2,096

図書購入費（当初予算）の推移

年度	17年度	18年度	19年度
総額	131,563	176,816	151,278
図書費	24,728	24,742	25,403
その他資料費	3,545	3,531	3,430

市民スポーツ

<スポーツの振興>

市民の誰もが、それぞれの体力や年齢、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会を実現するため、各種の事業の推進を図るとともに、自立した地域スポーツを組織化するため、総合型地域スポーツクラブの設立を目指している。

各種大会

体育指導委員関係行事 四日市市民スポーツフェスタ他 5 大会

レクリエーション協会関係行事 レクリエーション大会他 7 大会

少年スポーツ団関係行事 スポーツ少年団大会他 7 大会

体育協会関係行事 総合駅伝大会他 10 大会

各種講習会

5 講習会 538 名参加

各種スポーツ教室

21 教室 1,261 名参加

学校体育施設開放

40小学校・22中学校..... 体育館・グラウンド・武道場・プール・テニスコート

総合型地域スポーツクラブ

4ヶ所設立..... 保々、楠、三重、橋北地区

<体育施設の状況>

利用状況の推移

(人)

平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度
678,663	587,335	582,322	680,784	697,781

指定管理者の導入状況

1) 四日市市運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成18年4月1日～平成21年3月31日 名称：四日市市体育協会・四日市市シルバー人材センターグループ	中央緑地公園運動施設など26施設

2) 四日市ドーム指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成19年4月1日～平成22年3月31日 名称：トーエネックグループ	四日市ドーム

3) 楠プラザ運動施設指定管理者

指定管理者名等	施設名
契約期間：平成19年4月1日～平成21年3月31日 名称：特定非営利活動法人楠スポーツクラブ	楠プラザ運動施設

体育施設の設置状況

施設区分	設置ヶ所数	面数等	設備の特徴など
全天候型多目的施設	1	1	ドーム型(9,707㎡)・人工芝
体育館	3	4	トレーニング室併設(1ヶ所)
陸上競技場	1	1	第2種公認・全天候型トラック400m
水泳競技場	3	7	流水プール(1ヶ所)、温水プール(1ヶ所)
野球場	5	6	照明設備(2ヶ所)
ソフトボール場	2	3	
サッカー・ラグビー場	3	4	照明設備(1ヶ所)、グリーンサンド(2ヶ所)
テニスコート	4	24	照明設備(2ヶ所)、人工芝(12面)
運動用舟艇場	1	1	30艇係留
弓道場	1	1	5人立ち
武道場	1	4	柔道・剣道場
相撲場	1	1	屋形付土俵
多目的運動広場	1	1	照明設備(1ヶ所)
グランドゴルフ場	1	1	河川敷
ゲートボール場	1	2	
地区運動広場	14	-	地区による管理(ソフトボール場・テニスコートなど)

青少年行政

基本目標

青少年に豊かな体験の場を提供することにより、自ら学ぶ能力をはぐくみ、人間性豊かでたくましく生きる青少年の育成を図る。

基本方針

1. 心豊かでたくましい青少年の育成に努める
2. 健全な家庭づくりを推進する
3. 健全育成についての市民啓発と事業推進に努める
4. 健全育成のための環境整備に努める
5. 非行等問題行動防止活動を推進する
6. 青少年行政を推進する

主要施策

1. 心豊かでたくましい青少年の育成に努める
 - (1) 親と子どもの豊かな育ち事業を推進する。
 - 「早ね 早おき 朝ごはん」市民運動を推進し、学力向上も踏まえた「子どもの生活リズム向上」に取り組む。
 - 非行防止に繋がる「規範意識の向上」を推進する。
 - 有害情報や登下校時の危険から子どもを守るための取り組みを推進する。
 - (2) 青少年団体のリ・ダ・の養成に努める。
 - (3) 青少年団体の指導者育成と資質の向上を図る。
 - (4) 少年自然の家等の利用を促進し、自然体験や集団活動を奨励する。
 - (5) 子どもと若者のための居場所づくり事業を推進する。
 - (6) 青少年に体験活動の場を提供し、グループ活動を通して、社会性と自主性の育成を推進する。
2. 健全な家庭づくりを推進する
 - (1) 子どもの生活リズムを向上させる取り組みを推進し、地域ぐるみで家庭教育支援の機運を高める。
 - (2) 青少年の健全育成への関心と家庭教育の重要性の認識を深めるため、家庭教育の学習の場と機会を提供する。
 - (3) 家庭教育手帳の配布と活用の推進に努める。
3. 健全育成についての市民啓発活動と事業推進に努める
 - (1) 心豊かな青少年の育成に関する市民への広報・啓発活動を推進する。
 - (2) 青少年育成市民会議及び各種団体と連携し、青少年健全育成のための市民意識の高揚を図る。
 - (3) 青少年育成の事業を企画し、趣旨の徹底を図る。
4. 健全育成のための環境整備に努める
 - (1) 地域の子ども広場の整備に努める。
 - (2) 保護者の就労等により放課後等に留守家庭となる児童を対象に行う放課後児童健全育成事業を支

援助成する。

- (3) インターネット等に関する対応や安全利用についての啓発活動を推進する。
- (4) 地域ぐるみで子どもたちを見守り育てる「こどもをまもるいえ」の組織の充実を図る。
- (5) 青少年に有害な環境(有害図書、公衆電話内)の調査と浄化活動に努める。
- (6) 地域における青少年の事故を防止するため、危険箇所の調査と事故防止活動に努める。

5. 非行等問題行動防止活動を推進する

青少年の非行等問題行動を未然防止、早期発見するため、補導活動や相談活動を実施すると共に、関係機関・団体と連携し、環境浄化活動や啓発活動に取り組んでいる。

(1) 街頭補導・相談活動の推進

街頭補導活動

- ・中央補導員と特別補導員による活動(中央補導員145名、特別補導員20名)
- ・補導回数408回、補導少年数284名、(男177名、女107名)(平成18年度実績)

特別補導・広域補導

- ・大日市まつり、年末年始等の特別補導 8回
- ・三四地区内の広域補導 8回

補導員研修会

- ・補導員の資質の向上と補導員相互の連携・強調を図る

相談活動

- ・職員による面接相談 15件、電話相談 58件(平成18年度実績)

(2) 地域の相談・補導活動の推進

青少年相談員による活動(青少年相談員50名)

- ・学校、関係行政機関及び地域青少年育成団体と密接な連携を図り、継続して指導を行う必要がある青少年やその家族の相談・指導・助言活動を実施する。

青少年相談員研修会

地域補導及び広域補導活動

- ・地区補導代表者会(6ブロック33団体)
- ・三四地区広域補導協議会(1市3町3警察署、補導員31名)

(3) 啓発活動

- ・「社会を明るくする運動」等、非行防止運動への協力
- ・地区懇談会、PTA等の研修活動への協力と広報活動の推進

(4) 関係機関・団体との連携

- ・四日市市中央補導員協議会、四日市市地区補導代表者会、三四地区広域補導協議会との連携
- ・四日市南・北・西警察署、北勢少年サポートセンター等との連携

(5) 生徒指導体制への支援強化

- ・青少年問題に関する知識の向上と非行問題や虐待等の防止活動の充実を図るため、関係機関との情報交換を行う定例会を開催する。

6. 青少年行政を推進する

- (1) 青少年行政の基本的な計画について検討し、関係部局との調整を図る。
- (2) 青少年問題に関する総合的施策について調査研究し、連絡調整を図る。

青少年健全育成施設

1. 少年自然の家の設置目的（社会教育施設）

当施設は、豊かな自然の中で集団宿泊活動、野外活動、自然・環境学習活動、創作活動などの様々な体験活動を通して、問題解決能力、豊かな人間性、たくましい体力を身に付けた青少年を育成することを目的として、昭和62年に設置された社会教育施設である。

2. 教育目標

『自然の中で、自分を磨き、友達の輪を広げよう』

（自然の中で） 感動する心、共生する心を育てる。

（自分を磨く） 自己判断力、自主性、自律性を育てる。

（友達の輪を広げる） 協調性、思いやりの心を育てる。

3. 運営方針及び事業

（1）青少年の主体的な体験活動の推進・支援

主催事業、自然教室・各種団体受入れ事業、調査研究・職員研修事業、各種刊行物の発行等による啓発活動

（2）社会教育と学校教育の連携の支援・促進

自然教室支援事業、里山保全事業、体験活動実技講習会、関係機関との連携・協力

（3）家庭教育の充実と促進

主催事業

（4）ボランティアの活用・養成

主催事業、協力者主催事業支援、協力者自然教室支援、施設ヘルパー推進事業、リーダー研修受入れ事業、教育実習生受入れ事業

（5）施設・設備の充実

ふれあいの森整備事業、植物・里山保全活動、写真資料・書籍の充実、設備の改修・修繕等

4. 主催事業

（1）テーマ

『挑戦、感動、発見』

（2）全体目標

参加対象、季節を考慮した多彩な体験プログラムにより、感動する心、自然と共生する心、自己判断力、自主性、自律性、協調性、思いやりの心を育成する。

今後の生活に生きて働くような、価値ある体験活動を通して、一人ひとりに自分や友達を見つめ直す力を育成する。

（3）種類別事業

小・中学生を対象にした事業

アドベンチャースクール、わくわくキッズチャレンジ、ワイルドキャンプ、スペースキャンプ、ウインターフェスタ、子ども自然塾 . . .

家族・グループを対象とした事業

「春の里山まつり」、「森の中でテント泊 . . .」、「秋を食べよう」、「冬の森とおもちつき」、「水沢ふるさとウォーク」

- 一般・教職員を対象とした事業
「アウトドアセミナー」
小・中学生、一般を対象とした事業
「自然の家里山クラブ」(年間3回)

5. 施設概要

(1) 所在地 四日市市水沢町字大谷1423 2

(2) 本館・分館・水沢市民広場

	本館 そよかぜ、こもれび	分館、せせらぎ	水沢市民広場
宿 泊 定 員	177人	101人	
各 施 設	1階 事務室、医務室、 会議室、浴室、総合研修館 兼体育館 2階 宿泊室、食堂、 リーダー室 3階 宿泊室、研修室、 リーダー室	1階 研修室、大広間、 創作室、乾燥室、 リーダー室等 2階 宿泊室、講義室、 リーダー室等	芝 生 広 場
建 築 面 積	3,066㎡	1,339㎡	10,000㎡
構 造	鉄筋コンクリート3階建て	鉄筋コンクリート2階建て	芝生広場
建 設 年 度	昭和62年	昭和48年	平成4年
建 設 費	9億7,010万円	1億7,650万円	2億940万円

(3) その他の施設

キャンプ場(収容人数 160人、テント 20張り)、ファイヤー場、ふれあいの森、野外炊事場

6. 利用について

(1) 利用の約束

- 自分のことは自分でします。
- 友達に迷惑をかけません。
- 次に使う友達のことを考えます。

(2) 利用できる人

- 主催事業への参加者
- 引率者及び活動計画を有する8名以上の団体
- 小・中学校団体、高校・大学団体、青少年団体・その他の団体
- 特に、教育委員会が認めた団体

(3) 休業日

- 毎週月曜日
- 国民の祝日に関する法律に規定する休日。
- 年末年始。(12月28日～1月4日)

(4) 使用申請

- 使用日の10日前までに申請書により申請する。
- 申請書の提出は、使用日の属する月の6か月前の1日からとする。

7・8分月は、1・2月に抽選会を行う。

(5) 少年自然の家協力者会議

少年自然の家主催事業及び各種団体への技術指導を行うボランティア組織で、次の技術を提供する。

自然観察 登山・ハイキング 野外活動 里山保全活動

(6) 利用状況

施設 年度	本館・分館		キャンプ場		市民広場		合計		利用者内訳	
	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	団体数	利用者数	市内	市外
14	189	15,197	44	2,446			233	17,643	14,349	3,294
15	202	16,903	32	1,745			234	18,648	14,331	4,317
16	219	18,744	41	1,905	28	2,717	288	23,366	16,625	6,548
17	213	16,881	42	2,190	75	3,674	330	22,745	19,045	3,700
18	190	16,000	42	2,170	94	5,560	324	23,730	18,575	5,155

平成16年度から、キャンプ場と市民広場（利用申請の数）の利用を区分した。

人 権 教 育

本市が進める人権教育は、これまでの同和教育の実践が積み上げてきた理念や成果を踏まえ、世界の人権教育に学びつつ、自分自身、家庭、職場、地域と具体的に結びついたものを取り上げ、同和問題をはじめとするさまざまな人権問題の解消を目指し、人権が普遍的に存在しうる社会の構築を図ることです。そのためには、主体的に人権教育を推進する人づくりと多様な学習の場の提供などを推し進めます。

学校人権教育（指導方針）

人権を尊重し、差別をなくす実践力の育成

子どもたちが同和問題をはじめとするあらゆる人権問題を自らの問題として自覚し、生活の中にある課題の解決を図っていくために、教職員は園・学校のあり方を人権尊重の視点で見直していく必要がある。さらに、この視点から教育目標や年間指導計画の策定に努め、あらゆる差別をなくす実践力につながる人権教育を推進していくことが求められる。

個々の自主性・自立性を基盤として、差別を見抜く力、差別を許さない心情、差別をみんなで解消する意欲と実践力を育成する。

家庭との連携を深め、子どもたち一人ひとりの生活実態とその背景から課題を明らかにし、課題解決に向けて支援する。

子どもたちの課題意識に基づく学びが生き方と結びつき、自らの生活へつなげていける実践力となる人権を視点にすえた総合的な学習を推進する。

教職員があらゆる差別を許さない人権意識を身につけ、園・学校や地域における人権教育推進の担い手としての自覚と力量を高める。

人権教育推進計画に基づく校内研修体制の充実と地域内の園や学校での実践の交流を推進する。

人権教育に関する研修会や研究会に積極的に参加し実践力を高める。

幼児・児童・生徒の人権活動

- ・人権啓発ポスターの募集（対象：保育園・幼稚園児、小学生、中学生、高校生／募集締切：9月14日）
- ・人権作文の募集（対象：小学生、中学生、／募集締切：1月15日まで）
- ・県北勢地区子ども人権フォーラム（対象：中学生／8月28日）
- ・市中学校ブロック子ども人権フォーラム（対象：小学生、中学生／開催日：各ブロック随時）
- ・人権のひろば展（開催日：12月7日～9日／展示内容：人権ポスター、各学校の取組）

教職員資質向上・人材育成

- ・人権教育推進委員研修会（対象：小・中学校推進委員／開催日5月25日）
- ・人権教育実践研修会（対象：小・中学校中堅教員／開催日8月3日 幼稚園教員／開催日7月23日）
- ・人権教育新規採用教職員研修会（対象：新採教職員全員／開催日8月20日）
- ・人権教育リーダー育成研修会（対象：小・中学校教員31名／研修日4回）
- ・人権教育リーダーフォローアップ研修会
（対象：前年度までのリーダー育成研修会参加者／開催日12/26）
- ・いじめや差別をなくす人権意識向上研修会（市作成研修冊子を活用した研修会を全小・中学校で実施）

指導用図書及び資料の配付

- ・学校人権教育のてびき（第49集） 『朝明中学校 人権教育の実践』
- ・指導用図書 『部落史に学ぶ2』等

県・市人権教育指定

委託事業名	学 校 名 等	期 間
市人権教育推進校園	保々幼稚園 富洲原幼稚園 笹川東小学校 大谷台小学校 中央小学校 常磐小学校 常磐中学校 保々中学校 桜中学校	1 年
子ども人権文化創造	市内5地区	1 年
市中学校ブロック 人権文化創造	22中学校ブロック	1 年

人権・同和教育関係施設状況

施設	所在地・ 電話番号	建設 年月日	構造	敷地 面積 m ²	建物 延べ m ²	概要
人権プラザ 赤堀	赤堀三丁目 1-21 TEL351-7609	S50.11.7 増築 H15.2.24	RC造 2F	697.52	250.50	1階 事務所、料理実習室、和室 2階 ホール、図書室
赤堀児童 集会所		S52.3.31 増築 H60.3.29	RC造 2F			
人権プラザ 天白	日永二丁目 5-15 TEL346-2803	S48.9.30 増築 H15.3.14	RC造 2F	864.00	253.26	1階 事務所、料理実習室、和室2 2階 ホール
天白児童 集会所		S58.3.31 増築 H3.3.31	S造 平屋			
人権プラザ 小牧	市場町 1041-24 TEL339-0909	S48.3.15	RC造 2F	1650.00	301.00	1階 事務所、相談室 2階 教養室、図書室
小牧児童 集会所		TEL339-1287	S50.3.31			
人権プラザ 神前	寺方町 2281 TEL326-0840	S50.4.30	RC造 2F	756.58	309.18	1階 事務所、料理実習室、相談室 2階 ホール、図書室
寺方児童 集会所	寺方町 2251 TEL326-5022	S52.8.31 増築 S60.3.30	S造 平屋	1799.79	486.84	ホール、学習室、図書室、幼児室、 図工室、ステージ、職員室
神前 柔道教室	曾井町 494-3 TEL326-4236	S52.5.25	S造 平屋	713.14	204.39	柔道場、相撲場

教育センター

施設の概要

施設目的	研究，教職員研修，教育相談，不登校対策，情報教育，視聴覚教育，広報普及，及び視聴覚ライブラリーの事業を実施して，学校・園の教育の振興を図るとともに，広く市民文化の向上に寄与する。
所在地	諏訪町2番2号 四日市市総合会館6,7,8F 北条町11番9号 第1適応指導教室（第ふれあい教室）， 日永東一丁目2 28 第2適応指導教室（第2ふれあい教室）
施設	事務室・所長室 105.3 m ² 相談支援センター 214.8 m ² 情報教育室 100.34 m ² 視聴覚ライブラリー 177.66 m ² 研究室 47.72 m ² その他研修室など 1,645.13 m ² 第1適応指導教室 890.47 m ² 第2適応指導教室 264.54 m ² 合計 3,445.96 m ²

業務内容

事業名	内容
研究	<p>課題研究</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「自己学習力の向上」を図るための支援の在り方に関する研究 2. 生徒用人權教育教材「わたしがやく」の小学校における効果的な活用法に関する研究 3. 幼・小・中連携教育「学びの一体化」の在り方，進め方に関する研究 4. 四日市市における小学校英語活動の効果的な推進に関する研究 5. 教育センター研修と校内研修・OJT研修との関連を図った効果的な研修の在り方に関する研究 6. 小学校における情報モラル教育の在り方に関する研究 7. 四日市市における特別支援教育の在り方に関する研究 8. 不登校児童生徒の支援における学校との連携の在り方 <p>嘱託研究校・園による研究推進 川島幼・三重北小・富田中 重点課題研究推進校による研究推進 常盤西小学校・大池中学校 教育図書、研究資料の整備、提供 研究報告書、研究資料、所報、ニュースの刊行</p>
教職員研修	<p>各種研修会</p> <p>基礎研修・職能研修・教科等に関する研修・領域等に関する研修・重点教育課題研修・カリキュラム研修・ステップアップ研修・夏季教育セミナー・研究協議会共催研修 グループ研修……幼稚園(4グループ) 三泗教育研修運営委員会……研究協議会活動，教育研究大会，教育講演会</p>
教育相談	<p>不登校や発達，行動等に課題のある子どもと，その保護者・教職員に対する相談支援（来所相談，学校・園への巡回相談（就学相談を含む），電話相談，他の相談機関との連携調整）</p> <p>「ふれあい教室」での不登校児童生徒に対する学校復帰・社会的自立に向けた支援 嘱託精神科医や小児科医による相談員等への指導・助言 臨床心理士等によるカウンセリングやプレイセラピー及び諸検査の実施 学生ボランティア「ふれあいフレンド」による不登校児童生徒への自立に向けた支援活動</p>
情報教育	<p>教育情報通信システムの環境整備と活用や運用の支援 情報教育推進のための調査・研究</p>
視聴覚センター	<p>視聴覚実技研修会(パソコン) 視聴覚ライブラリー16ミリフィルム，ビデオテープやプロジェクターなどの貸出し</p>